



新聞で
読解力アップ!

ワークシート

読解力は学力の基本です。記事を読んで、問題にチャレンジしよう。

電子タグを導入すると…

① 商品に電子タグをつけて消費期限を管理

② 消費者
店から消費期限が近づいた商品について「〇〇円値引きします」とLINEに通知

③ 消費者が店を訪れ消費期限が迫る商品を割安で購入

メリット

① リアルタイムで在庫状況を把握し、人手不足を解消

電子タグで商品管理

経済産業省は12日、商品に貼った電子タグで消費期限や賞味期限を把握して、期限が近づくと消費者のスマートフォンに割引する商品の情報を送る実証実験を、東京都内にあるツルハなど大手のドラッグストアやコンビニで始めた。食品の廃棄ロスを削減するとともに、在庫管理の手間を省いて人手不足解消につなげる。2025年までに、大手が運営する店舗を中心に、全商品に電子タグを付けることを目指す。

実験を行うのはツルハドラッグ、ウエルシア、ココカラ

ツルハなど参加 経産省、東京で実験

ファイン、ミニストップ、ローソンの都内5店舗。各店の商品在庫データは、卸売りとメーカーも共有し、店舗での販売状況を瞬時につかむことができる。消費者は、あらかじめスマホのLINE（ライン）上で登録すれば、期限が迫った値引き商品のお知らせを受け取ることができる。ツルハホールディングス（札幌）が経営する東京都目黒区の店舗では、パンなど約40品目に電子タグを貼り、値引き対象商品の情報を発信する。売り場の一部にはカメラを取り付け、客が商品を手に取ると、その商品の詳しい情報が流れる電子看板を設けた。同社は「全商品に電子タグを付ければ棚卸しなどの時間が減り、効果は大きい」といい、実験結果を踏まえて導入を検討する。

ココカラとローソンは、商品を購入すると、スマホで決済できる「LINEペイ」で、ポイント還元が受けられるシステムも採用した。実験は28日まで。経産省は「電子タグは大量仕入れの最安値でも1枚5円とまだ高く、1円程度に下げる必要がある。タグを貼る労力軽減策も探りたい」としている。

（長谷川紳二）

電子タグが貼られたパン。消費の期限が迫ると値引き情報が消費者のスマホに届く。東京都目黒区のツルハ目黒中根店

北海道新聞朝刊 2019年2月13日（水）

(1) 図の ① に当てはまる、電子タグ導入による企業(店舗)側のメリットを、本文中から書きぬきなさい。

(2) とありますが、リアルタイムで在庫状況を把握することが人手不足の解消につながるのなぜですか。簡単に説明しなさい。

(3) 電子タグを導入するうえでの課題はどのようなことですか。2つ書きなさい。